

2023年度 臨床工学部会オンラインセミナー

内容・講師（敬称略）

1. 臨床工学技士の皆様と「情報」を考える 〔約60分〕

講 師 小牧市病院事業管理者
日本診療情報管理学会 理事長 末永 裕之

2. 臨床工学部門のタスク・シフト/シェア 具体的実践事例

事例1. 鏡視下手術におけるスコープオペレーター業務について 〔約30分〕

講 師 岩手県立中部病院 臨床工学技術科 主査臨床工学技士
赤澤 雅也

事例2. 表在化動脈に対する穿刺業務について 〔約30分〕

講 師 小牧市民病院 診療技術局 臨床工学科技師長
黒川 大樹

（概 要）

臨床工学部会研修会は、臨床工学技士が自治体病院における患者を中心としたチーム医療において、質の高い安心で安全な医療を提供するため「医療機器の安全管理」、「医療機器操作に伴う臨床技術の向上」などについて、知識、技術を習得しチーム医療の一翼を担うとともに効率的な病院運営に寄与することを目的として開催しております。

今年度は、講演1では『臨床工学技士の皆様と「情報」を考える』を演題として、日本診療情報管理学会 理事長を務められております、末永 裕之 先生（小牧市病院事業管理者）よりご講演をいただきます。診療情報の取り扱いについては我々臨床工学技士も十分に理解を深め、適切に管理することが求められており、その必要性について分かりやすくご教授いただけるものと考えております。

また、講演2では『臨床工学部門のタスク・シフト/シェア 具体的実践事例』をテーマに、告示研修を受講した後に実際にタスク・シフト/シェアに取り組み、臨床現場の最前線で活躍されている2名の臨床工学技士、赤澤 雅也 先生（岩手県立中部病院）並びに黒川 大樹 先生（小牧市民病院）より、タスク・シフト/シェアするまでの経緯、苦慮した点など具体的実践事例についてご教授いただきます。

例年同様に今年度のオンラインセミナーにつきましても、日々の臨床工学業務の一助となる内容となっております。また、同一施設内であれば何人でも、繰り返しPC、スマートフォン等でご視聴が可能であり、病院内の研修用としてもご活用いただけるものと考えております。是非、ご参加のほどよろしくお願い致します。